

事業評価シート【新規事業-1】

事業名	有害鳥獣駆除事業			基本計画	章	産業振興
事業コード					節	農林業
課係名	農政課	内線			項	農用地の保全
担当者氏名		職名			細項目	優良農地の確保

事業概要	近年拡大する、有害鳥獣による農作物被害の防止に向け、その駆除業務を委託することにより、効果的・効率的に実施し、優良農地の保全を図る。
現在の課題や市民要望など	捕獲従事者の高齢化及び担い手不足により、組織化が困難であるとともに、これに伴い職員の現場業務も増大している。また、今後、生息域及び行動範囲の拡大が想定され、さらなる農作物への被害が危惧されている。

事業目的	① イノシシの駆除による農地被害の軽減により、優良農地の確保と地域環境の維持・保全を図る。 ② アライグマを完全排除し、農作物被害や生活被害の軽減を図る。 ③ 有害鳥獣の捕獲・殺処分増加に伴い、増大する職員負担の軽減を図る。 ④
------	---

個別取組	① 箱わな設置によるイノシシの駆除 ③	② アライグマ等の防除 ④
------	------------------------	------------------

事業による改善・変更点	① 【イノシシ等】従事者への報償金の支払いによる駆除業務を委託にする。 ③	② 【アライグマ等】現在、職員で行っている殺処分業務を委託する。 ④
-------------	--	---------------------------------------

事業対象	<input type="checkbox"/> 個人・世帯 <input type="checkbox"/> 団体(民間) <input type="checkbox"/> 団体(公共) <input type="checkbox"/> 内部管理 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (有害鳥獣による被害発生地区)
------	--

内容	① イノシシ・ニホンジカの駆除 ③	② アライグマ・ハクビシンの防除 ④
----	----------------------	-----------------------

業務形態	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 負担金・交付金 <input type="checkbox"/> その他 ()
------	--

内容	① 【イノシシ等】箱わなの設置・管理・捕獲個体の殺処分・運搬処理 ② 【アライグマ等】捕獲個体の殺処分及び運搬処理
----	--

支出根拠	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 法令要綱、 等名称、	① ② ③ ④
------	--	------------------

事業継続	<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 複数年度:無期 <input type="checkbox"/> 複数年度:有期[始期 ~ 終期]	後年度負担 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
------	---	---

事業費の積算	年度	事業費	事務スケジュール				
			年月	内容			
事業費の積算	27年度	餌代・鋼材等:160千円	事業費	21,920	事務スケジュール		
		イノシシ等駆除業務委託:20,000千円	国 県	270			
		アライグマ等殺処分業務委託:1,375千円	市 債				
		箱わな5基の購入:385千円	その他				
	28年度	餌代・鋼材等:160千円	一般財源	21,650		27.4	県補助金交付申請 (イノシシ管理事業補助金)
		イノシシ等駆除業務委託:20,000千円	事業費	21,920		27.7	イノシシ捕獲状況報告
		アライグマ等殺処分業務委託:1,375千円	国 県	270		28.7	アライグマ捕獲状況報告
		箱わな5基の購入:385千円	市 債			28.1	イノシシ捕獲状況報告
	29年度	餌代・鋼材等:160千円	その他			28.1	アライグマ捕獲状況報告
		イノシシ等駆除業務委託:20,000千円	一般財源	21,650		28.3	県補助金実績報告
		アライグマ等殺処分業務委託:1,375千円	事業費	21,920		28.3	県補助金交付請求
		箱わな5基の購入:385千円	国 県	270			
		市 債					
		その他					
		一般財源	21,650				

経費節減効果	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	節減効果の内容
金額	千円	

主要指標	指標の種類		計算方法	目標(推計)値		
	名称			27年度	28年度	29年度
	■活動指標	①	イノシシ捕獲数	捕獲数	90頭	110頭
②		アライグマ等捕獲数	捕獲数	70頭	80頭	90頭
■成果指標	①	被害面積	共済へ申請のあった面積	100a	50a	20a
	②	被害報告	報告数	100	10	0

事業評価シート【新規事業-2】

項目別評価	1. 実施主体・目的の妥当性		<ul style="list-style-type: none"> ・自治体が関与すべき事業か。民間で実施できないか。 ・総合計画における目的に合致するか。課題解決に結びつくのか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	<ul style="list-style-type: none"> A. 妥当である B. 改善する余地がある C. 妥当ではない 	千葉県アライグマ防除実施計画は、市町村がアライグマの捕獲、処分場所への運搬、および焼却等による処分個体の処理を実施している。総合計画には、当該事業は盛り込まれていないが、農用地の保全、優良農地の確保に向けた取組としては合致する。
	2. 事業の有効性		<ul style="list-style-type: none"> ・意図した成果は確実に得られるか。 ・類似の目的を持つ事業はないか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	<ul style="list-style-type: none"> A. 有効である B. 改善の余地がある C. 有効ではない 	有効な捕獲により有害鳥獣の個体数が減れば、確実に被害は減少し、突発的な市街地への出没等も無くなる。
	3. 事業の効率性		<ul style="list-style-type: none"> ・成果を維持したまま費用を削減する余地はあるのか。 ・将来的なコストの増加・増大の要因はあるか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	<ul style="list-style-type: none"> A. 効率的である B. 改善の余地がある C. 効率的ではない 	有害鳥獣の増加を食い止めることにより、個体数及び生息域が減少し、将来的には駆除・防除にかかる経費が減少する。
	4. 緊急性		<ul style="list-style-type: none"> ・今実施しなければならない理由。 ・実施しない場合の問題点。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	<ul style="list-style-type: none"> A. すぐに実施する必要有 B. 2～3年後に実施する必要有 C. すぐに実施する必要はない 	有害鳥獣の個体数が増加し、被害金額の増加、被害地域の拡大を招いている。また、突発的な出没により、人に危害を与えるおそれもある。将来的には駆除・防除にかかるコストは増大する。
	5. 市民要望・公平性		<ul style="list-style-type: none"> ・どういう市民要望があるのか。 ・受益者負担は適正か。 ・公平性の点から受益の偏り(特定の地域や個人等)はないか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	<ul style="list-style-type: none"> A. 多くの市民要望有 B. 一部地域・団体等の要望有 C. 要望はない 	アライグマ・ハクビシンは市内全域で被害報告を受けている。イノシシについても、本納・新治・豊田・二宮・五郷・鶴枝地区で被害報告を受けている。
	6. 同規模他市・周辺市町村の状況		
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	<ul style="list-style-type: none"> A. ほとんどの自治体で実施 B. 同規模以上の自治体は実施 C. ほとんど実施していない 	周辺自治体でも有害鳥獣の生息が確認され、駆除・防除業務を行っている。

総合評価	■実施計画における位置づけ、財政状況による実現性		
	評価		◎評価理由
	B	<ul style="list-style-type: none"> A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない 	近年増大する被害状況を鑑み、優良農地及び生活環境の保全に向け、持続可能な取り組みとして、業務委託は必要であると考えられる。しかしながら多大な財政負担が生じることから、職員負担の軽減も考慮し、アライグマ等の殺処分業務委託のみの実施とする。
	■政策調整会議による評価		
	評価		◎評価理由：個体数の増加及び生息域の拡大による今後の被害が懸念される中、持続可能な取り組みとして有効であると認められる。ただし捕獲については、今後、法改正による民間参入や国の支援が想定されることや、より効果的な広域連携に向けた協議が必要であることから、まずはアライグマの殺処分業務のみの実施とする。
	B	<ul style="list-style-type: none"> A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない 	
	■庁議による方針		
	評価		具体的な方向性
	A	<ul style="list-style-type: none"> A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない 	農作物被害に加え、生活環境を脅かす問題となっていることから、有効な取り組みを早急に行う必要がある。初年度は、事業内容の更なる精査により、事業費の縮減を図り、次年度以降の本格実施に向けた取り組みとすること。